47 スマート農業の総合推進対策

【令和4年度予算概算要求額 3,150(1,359)百万円】

く対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、先端技術の開発、現場への導入実証、スマート農業普及のための環境整備について総合的に取り組みます。

実装

普及

E

<事業目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践「令和7年まで]

く事業の内容>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装を加速化するため、先端技術の開発や現場実証を行います。

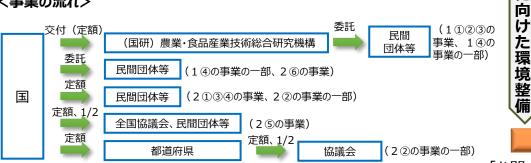
- ① スマート農業加速化実証プロジェクト
- ② スマート農業産地のモデル実証
- ③ 農産・畜産等対応スマート農業技術の開発・改良
- ④ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

2. スマート農業普及のための環境整備

スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
- ② データ駆動型農業の実践・展開支援
- ③ スマートグリーンハウス先駆的開拓推進
- ④ 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
- ⑤ データ駆動型土づくり推進
- ⑥ スマート農業教育推進

<事業の流れ>

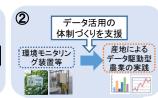


く事業イメージ>

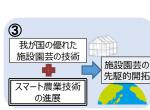


2. スマート農業普及のための環境整備











スマート農業の社会実装・実践

[お問い合わせ先] 農林水産技術会議事務局研究推進課(03-3502-7462)